



3つの活動と母校の教育目標「自主・努力・感謝」

令和2・3年度同窓会長
伊藤 文(高校27回)

同窓会の皆様にはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また平素より同窓会活動にご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「本会は、母校と連絡を保ち、会員相互の向上と親睦を図るとともに、もって教育・文化の発展に寄与することを目的とする」(長野県諏訪二葉高等学校同窓会会則第2条)

令和2、3年度はコロナ禍にあり、これまで通りの活動で同窓会の目的を果たすことの難しい年度でしたが、「だからこそ、新たな活動を創造する」ことに思い切って挑戦できた年度となりました。

同窓会として挑戦した活動は、〈二葉生を応援する活動〉〈二葉生と同窓会の距離を縮める活動〉〈支部代表者が集まる理事会を活性化する活動〉です。そしてこれらの活動の企画推進過程で大事にしたものが、母校の教育目標「自主・努力・感謝」です。

〈自主〉元気ややる気(努力)知恵を絞った工夫(感謝)相手意識

3つの活動はみなとても挑戦しがいがありました。教育目標「自主・努力・感謝」をキーワードとしたことによって、活動は

前向きなものとなりました。そして私自身も謙虚さを忘れずに過ごすことができました。

この2年間いつも校長先生をはじめとする先生方と二葉生のご協力を、そして母校を大切に考え同窓会を盛り立てようとしてくださる同窓生の皆様のお支えをいただけてまいりました。ありがとうございました。

同窓会の目的が十分果たせたかはわかりません。しかし退任を前に、伝統を踏まえつつ前向きに未来を志向する活動ができたと、わずかながらでも思えることはうれしく、とてもありがたいです。深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、諏訪二葉高校同窓会が同窓生の皆様のお力添えをもって、西尾ひと美新会長を中心に一層充実した会となりますこと、また諏訪二葉高校がさらに成長発展をされますことを心より祈念いたします。

2年間、お世話になりました。ありがとうございました。

以上をもって退任のご挨拶といたします。



繋がりを大切にして

令和4・5年度同窓会長
西尾 ひと美(高校30回)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

伊藤文前会長の後を受けて令和4・5年度の会長として務めさせていただくこととなりました。諏訪二葉高校は、明治34年上諏訪町尋常小学校に附設された諏訪補習女学校に始まり、昭和8年には長野県立諏訪高等女学校、昭和23年に新制高校として長野県諏訪二葉高等学校と改称し、昭和62年に男女共学となり、諏訪の地で115年の長きにわたり多くの人材を育ててきました。

また、同窓会は昭和8年に発足し今年で89年目を迎えます。その歴史や伝統を思いますと、その責の重さに身が引き締まります。微力な私でございますが、母校と同窓会の発展のために、本部役員、理事の皆様をはじめとする同窓会会員皆様のお力をお

借りしながら精一杯務めさせていただく所存です。

高校時代は、義務教育を終え自ら選んで踏み出し、人間としての根を張り、人生の方向性を定める大切な時期です。そんな大切な時期に、コロナ禍で思い描いた高校生活を送ることができず悔しい思いをしたり、その悔しさを何処に向けることもできずにいたりする苦しい状況の中でも、2年前の二葉祭の代替行事フタバサイの書道部パフォーマンス「逆境を超えて青く強く僕らは生きる」の表現通りに、二葉生は変化を前向きに捉え、日々頑張っているとお聞きしております。そんな逞しい現役生を応援し、そして二葉の良き伝統を受け継ぎつつ時代に即した柔軟な同窓会活動を行っていきたくと考えております。どうかよろしく願いたします。

以上簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

第86回定期総会及び2020(令和2)年度事業報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動を中止としましたが、それらに代わる活動、コロナ禍だからこそ行える活動を企画し実践することができました。

全日開催企画の第86回定期総会(書面決議)

〔第1部〕

- 開会の辞
- 物故者への黙とう
- 校歌斉唱(1、2、5番)
- 会長挨拶
- 学校長挨拶
- 来賓・客員紹介
- 来賓祝辞
- 議事

- ・2019年度事業報告、決算報告並びに監査報告
- ・会則変更について
- ・令和2、3年度正副会長、監事紹介
- ・新会長挨拶
- ・2020(令和2)年度事業計画案、予算案 質疑、承認
- ・平成30、令和元年度役員退任の挨拶



〔第2部〕講演会

- ・演題:「異邦人から40年」
- ・講師:久米 小百合氏(元歌手 久保田早紀)

〔第3部〕昼食懇親会 ミニコンサート

- ・ミニコンサート出演
マリンバ奏者 花岡利恵様(高校43回) 田窪秋彦様

〔第4部〕

- 会歌「白き翼」斉唱
- 閉会の辞

同窓会会則改正(下線部分が加われました)

第9条

本会は、4月または5月定期総会を開く。但し、必要に応じて臨時総会を開くこととする。なお、不測の事態により総会の開催が不可能となった際には理事会がこれに代わるものとする。

2020(令和2)年度事業報告(第87回定期総会冊子掲載)

- * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、二葉祭同窓会コーナー、ロビーコンサート、三者共催講演会は実施しませんでした。
- * 同窓会と二葉生との交流、同窓会活動の啓発に活用する同窓会掲示板を生徒昇降口に設置して活用しました。
- * 各種大会や学校行事の中止や変更のあった二葉生を応援するオリジナルマスク製作を企画しました。

- * 主な事業
 - 4月 4日 諏訪二葉高校入学式 校章贈呈
 - 5月18日 二葉生への応援メッセージ作成及び掲示
 - 6月15日 同窓会掲示板を校内(昇降口)に設置
 - 7月16・31日 非公開での「フタバサイ」お祝い金10万円、フタバサイお祝いのお茶(800本)贈呈
 - 10月13日 陸上部3名北信越高校新人大会出場お祝い金贈呈
 - 11月 9日 弓道部1名北信越高校新人大会出場お祝い金贈呈
 - 11月 9日 男子硬式テニス部・男子バスケットボール部にオリジナルマスク贈呈
 - 11月 9日 学校教育支援金贈呈(1月16日 記念事業積立金入金)
 - 12月24日 スケート部1名インターハイ出場お祝い金贈呈および懸垂幕作成
 - 1月18日 新体操部及び女子バスケットボール部にオリジナルマスク贈呈
 - 2月18日 同窓会活動啓発用理事オリジナルマスク製作40枚
 - 3月 4日 諏訪二葉高校卒業式 卒業証書ホルダー贈呈

- * 理事会 第1回と第3回は紙面決議となりました。7月実施の第2回理事会は、特別議題「同窓会と学校(生徒)がつながる発信と連携の工夫」をグループ協議しました。

寄贈にかかる報告

【遺志金】

- ・細田 裕子様(高校24回)
1万円(令和2年5月18日)

【ご寄付】

- ・両角 むつみ様(高女37回)
1万円(令和2年7月6日)

【寄贈図書】同窓生の著書

- ・両角 むつみ様(高女37回)
歌集「駒草の花」

- ・藤森 里美様(高校12回)
季刊詩集「ゆすりか」20冊
詩集8冊 歌集6冊

- ・柳谷 郁子様(高校8回)
「となりの男」

- ・山崎 康子様(高校18回)
画集Ⅱ
「芸術文化畑に身をおいて」

閲覧希望が
ございましたら
お申し出
ください。

第87回定期総会及び2021(令和3)年度事業報告



前年度第2回理事会協議を受けた、昼食懇親会とミニコンサートを行わない半日開催で企画した定期総会は中止となりましたが、未来につながる同窓会活動を模索しつつ活動を進めました。

半日開催企画の第87回定期総会(中止)

■期日/2021(令和3)年4月25日(日) 10:00~12:30 ■会場/諏訪市 ホテル紅や

〔第1部〕

- 開会の辞
- 物故者への黙とう
- 会長挨拶
- 学校長挨拶
- 来賓・客員紹介
- 来賓祝辞
- 議 事
- ・2020(令和2)年度事業報告、決算報告並びに監査報告
- ・2021(令和3)年度事業計画案、予算案質疑、承認



〔第2部〕講演会

- ・演題:「詩のある人生」
- ・講師:宮坂 静生氏
(俳人 俳句雑誌「岳」主宰
信大名誉教授 現代俳句協会名誉顧問
産経俳諧・日本農業新聞選者)

〔第3部〕閉会行事

- *感染拡大防止のため、昼食懇親会及びミニコンサートは行わない。
- *同様の理由により校歌及び会歌(白き翼)の斉唱は行わない。

2021(令和3)年度事業報告(第88回定期総会冊子掲載)

- *【二葉生を応援する活動】や【同窓会会員の親睦を深める活動】を柱に、企画を検討して実施しました。
- *オリジナルマスク製作支援を継続しました。
- *同窓会掲示板を継続活用し、月1~2回のペースで掲示物を製作し掲示しました。
- *上諏訪小学校支援組織「上諏訪おやじ衆」の力を借り、中庭にあった8台のベンチを補修整備しました。
- *理事対象のカルトナー・ジュ講座(小箱づくり)を行いました。
- *理事と3年1学級の生徒を対象とするアンケートを実施しました。
- *定期総会で中止となった宮坂静生氏の講演会「詩のある人生」をあらためて9月に一般公開の形で企画しましたが、県内の感染状況悪化のため中止としました。
- *親睦バス旅行を企画実施しました。参加者の協力のもと、安全に配慮した楽しい旅行を実施することができました。

- *主な事業
- 4月 6日 諏訪二葉高校入学式 校章贈呈 メッセージ送付
- 5月下旬 理事アンケート実施
- 6月19日 中庭のベンチ補修整備(6月26日に設置)
- 6月26日 二葉祭(非公開)お祝い金10万円の贈呈
- 6月28日 書道部、女子バスケ部にオリジナルマスク贈呈
- 7月上旬 二葉生3年1クラスにアンケート依頼
- 7月15日 陸上部、女子ソフトテニス部 インターハイ出場お祝い金贈呈
吹奏楽部定期演奏会お祝い金贈呈
- 8月24日 全国百人一首大会長野県代表生徒お祝い金贈呈
放送部全国大会出場懸垂幕
- 10月 7日 親睦バス旅行「長野県立美術館見学と小布施散策」20名参加
- 10月14日 陸上部新人戦北信越大会出場お祝い金贈呈
- 11月11日 学校教育支援金贈呈 記念事業積立金入金
- 11月18日 書道部 信州書道展最優秀校受賞お祝い金贈呈
- 1月17日 放送部 北信越大会出場お祝い金贈呈
- 3月 3日 諏訪二葉高校卒業式 卒業証書ホルダー贈呈

- *理 事 会 今年度は2022.4の理事会を第4回として年間4回開催しました。
同窓会会則に則り、第1回理事会審議をもって総会審議に代えました。
2回にわたる定期総会中止を契機に、「これからの定期総会のあり方」、「支部役員決め及び支部運営」、「今だからこぞこれからの生き方を、そして現役二葉生に伝えたいこと」を協議しました。毎回、活発な意見交換を行うことができました。

二年間の同窓会活動は
会報P4・5に、
理事及び生徒アンケートを
もとにした特集記事は
会報P12~15に掲載しました。
ご覧ください。



同窓会掲示板で振り返る2020・2021(令和2・3)年度同窓会活動 ～二葉生応援と会員同士の親睦～

2020.4

来賓出席等のない入学式。
そして、二葉生の登校制限、活動制限の中で学校生活が始まりました。校門前には3学年の先生方の手作り立札がありました。



二葉生の思いを想像するにじっとしていられず…

2020.5

生徒昇降口に役員製作の応援メッセージを掲示し、同窓会への希望や願いを自由に投稿できる投書箱も設置しました。
数日後、箱には4通の手紙が入っていました。早速返事を掲載しました。



テーマ 二葉生への継続的な応援をしよう 二葉生に同窓会を知ってもらおう

2020.5

このテーマのもと同窓会掲示板を製作し、生徒昇降口に設置しました。掲示物は月1、2回のペースで作り貼り替えてきました。掲示物作りには役員の家族で二葉の卒業生の力を借りることもありました。また年間の節目では、理事会や定期総会出席予定者の皆様からもメッセージを寄せていただき掲示してきました。ご協力、ありがとうございました。



同窓会最初のメッセージ発信



同窓会を知ってもらおう

2020.7～

掲示板を貼り替えているとき、生徒さんや先生方から声をかけていただきました。また回数を重ねるうちに、生徒さんたちの向けてくれる表情が柔らかなものになってきました。もちろん私たち役員の表情もです。「同窓会の顔」が見え、認識されるようになったのかもかもしれません。



アンケートを用いて



校地内植物紹介



同窓会



理事会最初のメッセージ



理事からのおすすめ本紹介

第87回定期総会が中止になり、講演を聴けず残念との会員の声を受け、理事会で承認を得、9.11に諏訪市文化センターで一般にも公開する宮坂静生氏の講演会を計画。が、再びの感染拡大のため中止せざるを得ませんでした。残念無念!



運動系、文科系ともに多くの大会が中止となった2年間でした。



しかしそんな中、わずかなチャンスをつかんで北信越大会や全国大会に出場することのできた部がいくつもあり、お祝い金を差し上げることができました。

令和2年のフタバサイにはお茶800本をプレゼント。搬入と配布は男子バスケット部がしてくれました。



卒業式に合わせて飾ったお雛様の前で友と記念写真をとる生徒が何人もいました。



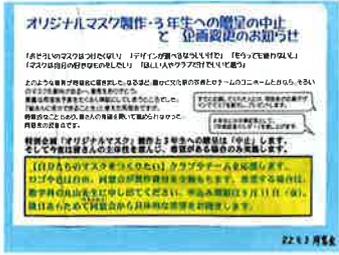
2020.9～

掲示板に手ごたえを感じた役員会は、理事会で出された「オリジナルマスク製作支援活動案」を受け、役員会で企画。この企画では、図案を募集してコンテストを行い、最も票の多いデザインで製作し3年生に贈呈する予定でした。

しかし「同じマスクなんてしたくない」と二葉生に企画を一蹴されてしまいました。

役員世代と今の高校生は違う。応援は自己満足ではいけない。

あらためて企画を見直し、〈オリジナルマスク製作を希望する部活動支援〉を始めました。



2020.10～2021.11

2年間で、のべ7部活のオリジナルマスク製作支援を実施することができました。



マスクはそれぞれの部内で色や印刷する図柄など決め、製造を業者委託しました。

(写真の右上から時計回りに男子硬式テニス、新体操、女子バスケ、同窓会、男子バスケ、書道部のマスクです)

各部活のマスクはオリジナリティーにあふれた素敵なものでした。

また、同窓会でも理事たちが使用して同窓会活動啓発に活用できるマスクを製作しました。

現役生と何かを行いたいときは、企画段階から相談することが大事。

大いに勉強になりました。

2021.6

2年連続で非公開の二葉祭を実施することになった二葉生を応援するため、中庭の老朽化したベンチを修繕しました。

修繕には諏訪二葉高校と縁のある上諏訪小学校(元高島小)の学校支援ボランティアである「上諏訪おやじ衆」の力を借りました。当日は会員数80余名の中から14名もの方が来ていただきました。

その中には諏訪二葉高校が男女共学になった頃に入学した方や現役PTAの方たちもいらっしゃいました。

真っ黒で座れなかったベンチの座面は、さわやかなレモンイエローに塗られた板に取り替えられ、金属部分は長年の錆が落とされ銀色に塗装し直されました。

白黒写真のようなベンチ



8台分の分解、錆取り、塗装、組立等6時間以上も続いた丁寧な作業



生徒会役員とおやじ衆

ベンチ設置の日、生徒会役員がおやじ衆にお礼に来てくれました。書道部は二葉祭での書道パフォーマンスを見せてくれました。ボランティアで活動して下さったおやじ衆にとっては一番のお礼になりました。

また、後日一人の女生徒が「どうしてもお礼が言いたくて」と同窓会室に来てくれました。役員一同、喜びでいっぱいになりました。二葉生と同窓会の距離が縮まった… そう実感できた素敵なきごとでした。

会員同士の親睦と交流の場

コロナ禍で、本会はもちろん各支部でも総会等活動のできない2年間でした。そのため会員同士の親睦や交流の機会もほぼありませんでした。けれどもおかげさまで、

- 自由闊達に情報交換・意見交換をする理事会
- 理事対象の「カルトナーージュ講座(小箱づくり)」

○2021.10.7親睦バス旅行「長野県立美術館・東山魁夷館見学と小布施町散策の旅」は実施することができました。

限られた会員のみでの親睦と交流ではありましたが、今後の同窓会活動に引き継げる活動となりました。



次年度以降は、多くの会員が様々な場面で親睦・交流できることを心から願います。



2020(令和2)年度 2021(令和3)年度 各支部の報告

ほぼすべての支部において総会や定例の活動ができませんでした。そこで今回の支部報告は支部運営にかかわる支部長の意見や感想、本会の理事としての活動を振り返っての感想等を記載します。

各支部役員の皆様、また各支部役員をお支えいただいた皆様、本当にありがとうございました。

支部名	理事(○支部長)	活動報告・意見・感想	
諏訪	両角 信子 関谷久美子 丸山 美保	○平林 美幸 阿部あゆみ 永井 勝見	コロナ下での前例のない同窓会活動に臨機応変でしかもパワフルに向き合う本部役員ならびに事務局の様子に、近年すべての行動に及び腰の自分に喝を入れてもらえました。二年間で一緒にさせていただき感謝します。
八ツ葉	笠原真由美 上野さやか 伊藤 文子 ○平出 彰子	柳平 孝美 矢島佳代子 浜 順子	例年は2年に一度11月中下旬に総会を開催していましたが、令和3年度はコロナ禍により開催しないことになりました。しかし総会に代えて支部長と副支部長で報告会を行いました。2年間の経緯を伝え、支部活動についての感想や次期役員選出にかかわる状況等をお伺いしました。支部内の情報共有化・支部の同窓会名簿の扱い・支部会員の繋がり等が話題となり、次期役員がなかなか決まらない困難さや同窓会に対する関心が低い状況が話されました。コロナ禍により活動はあまりありませんでしたが、個人的には久しぶりに二葉に出かけたこと、同窓生というだけで親しく話せる新たな出会いなど、否定的にとらえていた役員でしたが、満更でもない2年間でした。
富士見	○功力富久美		卒業以来初めて訪れた校舎を見上げて、懐かしき学舎に想いをよせました。親睦バス旅行では同窓生がいて、当時の話に思わず笑みがこぼれ、とても楽しかったです。
下諏訪	○菊池 淳子 宮坂 史枝		コロナ禍で支部では何も活動できませんでしたが、理事会で二葉生の頑張っている様子を聞く事ができ、今の二葉生を身近に感じました。理事になったことにより 同窓会を考える機会に恵まれ、日常は奇跡の重なりだと改めて考えさせられた2年間でした。
三ツ葉	○中澤奈津美 遠藤 真弓	三澤 茂子 高橋 桂子	コロナ禍の影響で、「開催通知→中止通知」と支部幹事は例年に比べ連絡を取ることの多い年度でした。この状況でも同窓会事業をできるだけ推進しようと奔走する本部の方々に追従するよう活動してきました。来期は同窓会活動がより発展して行えるよう願っております。
伊北	○田中 恵子		支部の活動はコロナ禍で例年通りには行えませんが、広い年代の方の意見をまとめることの難しさを痛感しました。理事会は会長さんのお人柄が楽しく参加でき、今まで疎遠だった同窓会を身近に感じることができました。
伊那	○永瀬 瞳子		縁あって同窓会理事となり、卒業以来校舎に足を踏み入れる事すらなかった自分に良い機会を与えていただいたと感謝しています。また、同窓会の皆様と出会い、母校や後輩に対する強い思いを改めて感じる事ができました。我が地区では存続すら…との悩みを抱えています。今後ますます同窓会が発展していくことを望んでいます。
松本	○荻野 幸子		松本支部は700名を超える会員がいます。これまで支部総会や会費徴収のたより等を発行してきましたが、印刷・経費等かなり大変でした。来期より本部とも相談し簡素化していく方向で進めています。理事会への出席は楽しく、運営の意見交換もでき助かりました。
長野	○小林 幸代 古平あけみ		コロナにより役員の引継ぎの難しさを感じています。一番考えたことは支部の方々への連絡方法です。効果や経費の面から今後は往復はがきではなく、SNSの活用も考えています。往復はがきでの連絡では、次回から連絡はいらないと回答された方が、同学年の方と連絡を取り合うことで役員を引き受けてくださいました。むやみに名簿から抜くことはできないとも感じました。高女の方々が一生涯懸命に築いてこられた同窓会ですが、年代を区切って考えていったらどうかと思いました。自分の学年前後の方とつながって交流を深めると、同窓生から力を貸してもらうこともできます。過去数年の名簿を整理しながら、支部の在り方についても話し合いました。コロナのため本会への参加は2回にとどまり、いろいろな会を催すこともできませんでしたが、次につながる活動ができました。役員の負担があまりなく、交流が深められる支部になるようこれからも参加していきたいと思えます。
東京	○渋谷 和海		規定がなく書面決議もできないことから、総会資料を学年幹事、歴代正副支部長、過去2年間の総会出席者に送付、傘寿の皆様には記念のワックスサシェを送付。コロナ禍ではどうなるか心配。次年度は議事や講演会・傘寿を祝う会も開催したい。会食は難しいと思います。(2020年度の感想)
	○内田真理子		コロナ禍での活動となり、対面での会議がすべて中止となった2年間。その中で、リモートでの役員会を開催できたことはイノベティブでした。コロナが収束しても、この方法は時間的、空間的、経済的にも同窓会活動を支えてくれると思います。一方、温もりのある対面での会議も大切にしたいと思っております。
関西	○小坂 瑞穂		関西支部総会は、毎年6月第2土曜日に大阪第一ホテルにて開催してきました。近畿一円だけでなく、岡山や広島などに在住する会員の皆様にも呼びかけて広範囲から集まる同窓会です。過去には阪神淡路大震災とインフルエンザ大流行の時の2回だけ中止したことがありました。当時は高女卒業の方々の出席が多く、皆さんかくしゃくとして大変お元気。「こんなおばあちゃんになりたいね！」と我々高卒の者にとっては憧れの先輩方でした。でも中には、「出席」のはがきをいただいた後で、『一人で電車に乗って大阪市内まで行くのはやめなさい。』と家人に言われたので残念ですが欠席します。」と寂しいお知らせ。年々高女の方の出席は減ってまいりました。第一ホテルには同窓会終了当日、来年の予約をしますが、この2年間は予約と取り消しの繰り返しでした。次回の日程はすでに予約済みです。いつ晴れ晴れとした気持ちで皆さんとお会いできるのでしょうか。



新たな学びの推進

諏訪二葉高等学校長

浅井 秀俊

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援を賜り、感謝申し上げます。令和3年度より歴史と伝統のある諏訪二葉高校に赴任し、身の引き締まる思いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍に振り回される中、学校での教育活動は、規模を縮小したり、内容を変更したりしながら、何とかやりくりをしてきました。コロナ禍が収束に向かえば、本来の形にすぐにも戻したいところですが、まだまだ油断は禁物であり、当面は、感染症への対策を万全にして慎重に教育活動を進めてまいります。

同窓会からは、毎年上部大会に出場するクラブへの支援金、教育活動支援金をいただき、誠にありがとうございます。生徒の学習・生徒会・部活動の環境整備等に活用しています。また、中庭にあるベンチの補修にもご協力いただきました。重ねて感謝申し上げます。

さて、本校には、新しい時代へと向かうべく新たな取組の萌芽が見え始めています。それは、ICTを効果的に活用し、探究的な学びの実現に向けた取組です。1年生から一人一台のタブレット端末を配備し、今後、それを効果的に

活用するための授業改善を行っていきます。これからの生徒が、新しい時代を力強く生き抜くためには、ICTを縦横に駆使し、生涯を通じて主体的・発展的に学習を深め、新しい技術革新に臨機に対応する力と、実社会の場面での協働的な活動を通して人間関係をしっかりと築く力を併せ持つことが不可欠であると考えています。

予測困難な時代、直面する様々な課題に立ち向かい、「持続可能な社会の実現」を目指すためには、基本的な知識、技能を身につけた上で、自ら考え、判断し、表現する力を磨き、他者と協働して主体的に学び、課題を解決していく総合的な「学力」が求められます。生徒がこれらの力を涵養し、更に上級学校で伸ばしていくために、教職員一同尽力して参りたいと思います。

今後とも本校の生徒を温かく見守っていただけたら幸いです。同窓会の皆様方には、母校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、諏訪二葉高校同窓会の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念申し上げご挨拶とします。



二葉の好きどころ

生徒会長

本山 愛莉

大根坂を登り、校門の前で後ろを振り返ってみる。その時、目の前に広がる美しく輝いた景色。体育館の前に立っている大きな桜の木。これでもかというくらい騒がしい教室。個性豊かな友達や先生。これらは私が二葉の中で大好きなものです。

高校入学当初は、毎日こんな急坂登れないよ!なんて思っていました。ですが、ある日ふと後ろを振り返ってみると、そこには今まで見たことのないような諏訪の地が広

がっていました。その時の感動は、今でも鮮明に覚えています。

私は、景色だけでなく二葉生も大好きです。勉強、部活、生徒会の全てにいつも全力投球で、挑戦し続ける人が二葉には沢山います。時には友達と切磋琢磨し合ったり、時には励まし合ったり出来る素晴らしい仲間と一緒に三年間を過ごし、生徒会長として沢山の二葉生と関わったことは、私にとって一生の宝物です。



諏訪二葉高校の今 ～自主・努力・感謝～



二葉祭を終えて

二葉祭実行委員長
水梨百華

「全校で二葉祭を創る」ことの先頭に立つと考えると、物凄いプレッシャーでした。何がどこまでできるのかもわからない中で全校が望むようなものを創れるのか。一般公開はできない、体育館は人数制限をしないといけないなど考慮しなければいけないことが多くありました。「本当はこうなるはずじゃなかったのに」と思うととても悲しくなりました。それでも最高の二葉祭を創るために、毎日いつでも頭の中は二葉祭のことでいっぱいでした。しかし、中々思い通りに行かずに一人で悩みを抱え込んでいました。そんな時に私を救ってくれたのは役員をはじめとする友達などの仲間やずっと寄り添ってくれていた先生でした。みんな相談を聞いてくれて、一緒に考えて意見を出してくれて、本当に感謝しかありませんでした。そのおかげで私は前に進むことができました。一人で考えることに囚われ

ていた私の考えを変えてくれたおかげで、周りと協力しながら二葉祭が終わるまで全力で駆け抜けることができました。

二葉祭でできることを最大限にできたかどうかはわかりません。しかし、二葉祭の三日間全校が笑顔で溢れていて、終わった後も「楽しかった」、「ありがとう」と一言もらえるだけでも自分の努力は実ったのかなと思います。私たちは一昨年まで行われていた元の文化祭を知らない学年にバトンを渡すこととなります。それでも、来年「Re:start」できる助けになるような、テーマにふさわしい二葉祭にすることができたと思います。

この経験は自分が変わるきっかけにもなり、とても意味のあるものになりました。最後まで支えてくれた周りの人には本当に感謝しています。ありがとうございました。

活躍する二葉生の足跡 クラブ大会結果【北信越大会・全国大会等】

2020(令和2)年度

□北信越高校新人大会

[陸上]高野 夏来…1500m/4位 3000m/2位
小林 千紘…走幅跳/2位 三段跳/6位
竹内 里桜…100mH

[弓道]茅野 愛未…個人戦

□全国高校総体(インターハイ)

[スケート]牛山 莉奈…500m、1000m

2021(令和3)年度

□北信越高校総体

[陸上]漆戸 柊哉…100m 小口伸太郎…走高跳
両角 駿介…棒高跳 高野 夏来…3000m
竹内 里桜…100mH 上村 文寧…走高跳

[ソフトテニス・女子]矢崎 花奈、牧 愛純…個人戦

[水泳]金子 陽向…自由形50m、背泳ぎ100m
早田 海月…個人メドレー200m

□北信越高校新人大会

[陸上]両角 駿介…棒高跳/8位

□全国高校総文祭

五味 愛夏…小倉百人一首かるた部門長野県チーム

□NHK全国高校放送コンテスト、北信越選抜放送大会

鎌倉早百合…朗読部門(選抜大会最優秀賞)



2020フタバサイ



2020フタバサイ
フィナーレ



2020年・2021年
うちわとタオル



2021二葉祭(書道部)

大学合格状況一覧

(令和元年～令和3年、合格延べ人数、浪は3年度分の過年度生合算)

国立大学	令3	令2	令元	浪
室蘭工業				1
北海道教育	1	1		
山形	1		1	
東北				1
福島		1		
筑波			1	
茨城	1	1		
宇都宮		1		1
埼玉	1		1	2
千葉		1		
東京				1
東京芸術				1
東京学芸			1	1
横浜国立		1		2
上越教育	2		1	
新潟	2	1		2
富山	1		1	1
金沢	2	3	1	
山梨	2	5	3	2
信州	16	11	7	2
静岡	1	1	1	
名古屋				1
奈良女子		1		
島根	1			
徳島	1			
鳥取		1		
高知		1		
琉球	1			
合計	33	30	18	18

公立大学	令3	令2	令元	浪
岩手県立			1	
茨城県立医療			1	
前橋工科	1			
高崎経済	1	2	2	1
埼玉県立	1	1		
東京都立		2	1	1
新潟県立看護			1	
長岡造形		1		
富山県立			1	
石川県立	1			1
公立小松	1	1		
敦賀市立看護		1		
都留文科	2	2		
山梨県立	3	2	1	1
公立諏訪東京	1	2	2	4
長野	4	2	1	1
長野県看護	1	5	2	
長野県立	4	1	4	
岐阜県立看護			1	
静岡県立	1		2	
静岡文化芸術			1	
奈良県立			1	
滋賀県立		1		
福知山公立		1		
芸術文化観光専		1		
兵庫県立	1			
岡山県立	1			
宮崎公立			1	
名桜			1	
合計	20	26	25	9

私立大学	令3	令2	令元	浪
酪農学園		1	1	
八戸学院			1	
石巻専修	1			
秋田看護福祉	1			
東北工業	5			
東北福祉		1		
つくば国際		1	1	

私立大学	令3	令2	令元	浪
常磐		1	3	
流通経済			1	
国際医療福祉	1	1	2	
作新学院			1	
関東学園			1	
群馬医療福祉			1	
白鷲	1	1		
群馬バース	1	1	7	
高崎健康福祉		2	2	
尚美学園	1			
埼玉学園	1			
埼玉医科		1		
埼玉工業		1	1	
城西	1	1	1	
女子栄養	2		2	
駿河台	4		1	
東京国際	3	1	1	
獨協	1	2	2	
日本医療科学	3	2	1	
ものづくり		1		
江戸川	1	1		
国際武道		1	1	
神田外語	2		1	
文教	9	6	6	1
秀明		1	1	
淑徳		1	3	
聖徳			1	
中央学院			1	
千葉科学	1		1	
千葉工業	5	5	8	1
麗澤	4		1	
和洋女子	1		1	
東京情報	1	1		
青山学院		1		
亜細亜	1	3	6	
跡見学園女子		1	2	
麻布				1
桜美林	3	7	11	
大妻女子	1		1	
共立女子			1	
杏林	1	5	2	1
北里	1	4	1	2
恵泉学園		1	1	
工学院	1	3	4	
國學院	2	3	1	
国士館	3	2	3	
駒澤	4	2	1	
駒沢女子			1	1
昭和		5		
昭和音楽	2			
昭和女子大学	2		1	
昭和薬科	1			
聖霊クリストファー				1
芝浦工業	1	1	2	
白百合女子		1		
順天堂	5	7	3	
実践女子	2	4	1	
聖心女子	1			
成蹊		4	1	
成城	2			
専修	11	7	4	2
創価	2	1		
大正	1	2		
高千穂			1	
拓殖		6	6	2
多摩			2	
玉川	1	4	2	
大東文化	5	11	14	
中央	1	3	1	1
津田塾			1	

私立大学	令3	令2	令元	浪
帝京	3	3	6	
帝京科学	5		2	
帝京平成			2	
デジタルハリ			2	
東海	10	4	2	1
東京医療学院	1		1	
東京医科			1	
東京医療保健		1		1
東京家政	2	1	5	
東京経済	3	3	4	
東京工科	5	4	5	2
東京工芸		1		
東京国際工科専門職	2			
東京女子		1	1	
東京成徳		2		
東京電機	1	3	2	
東京都市	2			
東京農業	4	5	2	1
東京薬科		1		
桐朋学園		1		
東邦	1			
東京福祉			3	
東洋	19	25	6	4
東洋学園		1		
日本体育		1		1
二松学舎	1	1		
日本	15	10	13	3
日本社会事業		1		
日本女子体育		1		
日本文化		1		
文化学園	1		1	1
文京学院			1	
法政	7	1	1	
武蔵	1		1	
武蔵野	4	7	1	
明治	3	4	2	
明治学院	2	3		
明星	4	3	4	
目白		3	3	
立教	5	1		
立正	4	5	1	
早稲田		1		
麻布	2	5	1	1
神奈川	10	4	9	1
神奈川工科	1	2	5	1
鎌倉女子	2		2	
関東学院	4	8	3	
相模女子		1	2	
東洋英和女学院			1	
湘南工科		2		
鶴見		1		
フェリス女学院		1		
新潟医療福祉	3		2	2
新潟経営			2	
新潟産業			2	
新潟青陵			1	
新潟薬科		1		
金沢医科	1			
金沢学院		1	2	
金沢工業	2	4	1	2
北陸		1	1	
福井医療	1		1	
福井工業		1		1
健康科学	1	3	2	
山梨英和	1	5	5	
山梨学院	4	7	10	
佐久	2	6	5	2
清泉女学院	1	8	3	
長野保健医療	4	4	12	
松本	21	25	11	1

私立大学	令3	令2	令元	浪
松本看護	2	6		
岐阜医療科学	2	3	5	1
岐阜聖徳学園	2	2	2	
岐阜女子	1		4	
岐阜保健			2	
中部学院		1	1	
静岡福祉	1			
静岡理工科			3	
常葉	4	5	4	
愛知	1			
愛知学院	7	3	7	2
愛知工科		1	2	
愛知学泉		2		
愛知工業	2	2		
愛知淑徳	3	6	1	
愛知文教			1	
岡崎女子	1			
金城学院	1	1	1	
至学館		1		
修文			5	
椋山女学園		1		
大同				1
中京	6	5	7	
中部	10	3	3	
東海学園		1	1	
同朋		1		
名古屋外国語		3		
名古屋学院		1	4	
名古屋学芸	1		3	
名古屋芸術			1	
名古屋経済		1		
名古屋商科		2	1	
名古屋女子		3	1	
名古屋文理	1	2	1	
日本赤十字豊田			2	
日本福祉	1	4	1	1
南山				1
名城	2	1	3	
長浜バイオ	1			
皇學館		2		1
鈴鹿医療科学	1			
岡山理科				1
京都芸術		1		
京都光華女子		1		
京都女子		5		
京都橘	1	1		
京都ノートル女			1	
同志社	1			
同志社女子	1			
佛教		2		
龍谷	1	2		
立命館	7	5	1	2
大阪芸術	5		1	
大阪産業			1	
大阪大谷		1		
大阪工業	1			
関西福祉科学		1		
近畿	3	1	1	
神戸国際			1	
関西学院		1		
神戸学院		2		
甲南女子	3			
武庫川女子	2			
奈良		3	4	
九州栄養福祉			1	
西南学院				1
合計	344	400	361	

二葉生と同窓会をつなぐ同窓会掲示板より

下記は、2021(令和3)年11月18日版の掲示内容です。次ページ以降の特集「諏訪二葉高校のこれまでと今そして未来を考える」と合わせてお読みください。

(注)実際の掲示物は横長模造紙1枚サイズで製作しました。会報では紙面の都合により、内容はそのまま、色合いを変更し、A4版縦長に編集してあります。

～時代を映すか 諏訪二葉高校の部活や生徒会行事～

R3.11.18 同窓会

同窓会会報製作の過程で、生徒会誌「天つ野」や卒業アルバムを調べることがありました。

今回の掲示板では、その時面白いなと思った《山岳部》と《弁論大会》を紹介します。

《山岳部》

皆さんには登山の経験がありますか。今部活に山岳部のある諏訪の高校は3校あるかどうかですが、かつて諏訪二葉高校には山岳部がありました。

生徒会誌「天つ野」に、こんな山岳部の記録を見つけました。

1963(昭和38)年 部員36名 入笠山、南八ヶ岳縦走、黒百合平キャンプ、甲斐駒、仙丈ヶ岳、中央八ヶ岳縦走

1977(昭和52)年 入笠山、北八ヶ岳、南アルプス、白峰3山を登頂

1977年の部員数はわかりませんが、その2年前の1975年、日本人女性だけの登山隊において田部井淳子さんが女性として世界初のエベレスト登頂に成功しています。だからもしかしたら1977年当時の山岳部(まだ女子高でした)は、「入りたい部活」として人気だった?

さて60、70年代に中高生だった世代が中高年に仲間入りし始めた1990年代、山小屋はおばちゃんおじちゃんたちで大賑わいという中高年の登山ブームが起っていますが、偶然の一致でしょうか。意外に、何に夢中になって中高生時代を送っていたかが数十年後のブームを作るのかもしれないと思いました。

30年後、二葉高校にはどんな部活があるでしょうか。それとも学校から部活そのものがなくなっている? いずれにしても、30年後の高校とはどんなところで、世の中にはどんなブームが起きているのでしょうか。

想像つきますか。

《弁論大会》

1960(昭和35)年、第5回二葉祭において、諏訪郡内外の高校から弁士(生徒)を招待して「招待弁論大会」が開催されています。その時の二葉生の演題は「主張をもとう」「若人よ 考えよう」などでした。

1962(昭和37)年の弁論大会は、全学級から代表者が出場して行われたようです。演題には今の時代にも当てはまるような「親と子」「社会の中で」「自殺と私」などがありました。

1970年代には、生徒会行事として「討論会」が実施されています。この頃二葉生だった同窓会理事は、「同じ二葉生が堂々と自分の意見を述べる姿に衝撃を受けた」と話しています。

1980(昭和55)年には、文科系部活の一つとして「弁論部」があり、活動しています。

1960～1980年代は、例えば地方に住む高校生であっても、世界の動きや日本の状況に無関心ではいられなかった時代でした。だからこそ当時の二葉生は「弁論大会、討論会、弁論部」という場、つまり自身の考えを述べ友と語り合う場を求めたのかもしれないと思いました。

では今は? 不寛容な時代と言われる今を生きている皆さんだからこそ声に出したいことや本音で話したいと思うことがあるのではないかと思います。また情報化社会の中で生きている皆さんだからこそ、多様な考えに触れて、物事を多面的多角的にとらえながら自分なりの思考判断ができているのではないかと思います。

もし今皆さんが弁論大会や討論会を企画するとしたら、どんなテーマで、どんな形で、どんな情報機材を用いながら、意見発表や討論をするのでしょうか。

二葉生自身による討論会が開かれたならば、ぜひとも聴いてみたいです。



1962年弁論大会

はじめに

社会の大きな変化と急激な少子化の中でも、将来にわたって高校教育の学びの質を保証するため、長野県教育委員会は2021年3月に「新たな教育の推進」と「新たな学校づくり」に一体的に取り組むことを理念とした「学びの改革 基本構想」を策定し、同年9月には「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【2次】」を策定・公表しました。そして「諏訪地区を含む再編・整備計画【全県】(案)」も今後公表される予定です。

こうした県の動きを受け、同窓会では「諏訪二葉高校で学んできたこと」をテーマに、2021年6月に理事を対象に、同

年7月に現役3年生1学級の生徒を対象に、アンケートを実施しました。時間をとって回答してくださった皆様にあらためて感謝申し上げます。

紙面の都合でアンケート項目のすべてを記載することはできませんが、これまで私たちの諏訪二葉高校はどのような学びの場であったのか、そしてこれからも大切にしていきたいことは何か、まとめてみました。

*現役生:2022年3月卒業で卒業回数は74回生

理事:卒業回数の平均値は30回生、中央値及び最頻値は28回生

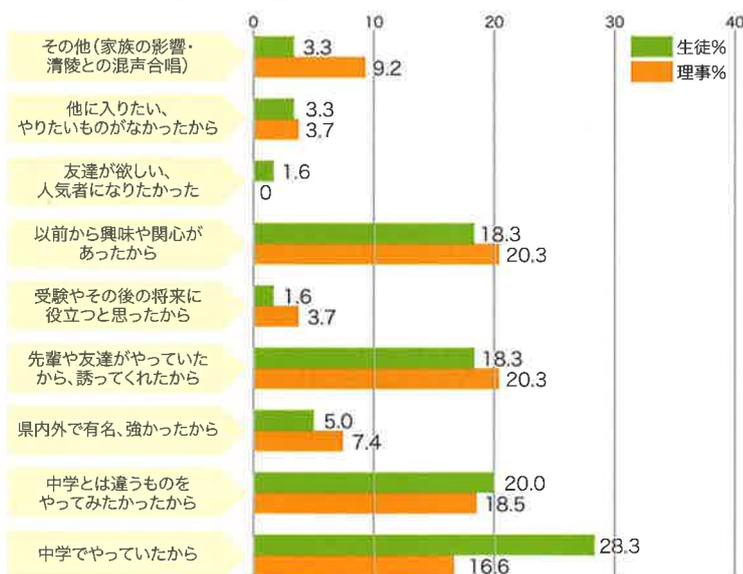
質問1

学校生活で心に残っている活動や行事は何ですか。



質問2

入部した理由は何ですか。複数回答可。



私たちは最初に高校生活において教科学習や諸活動や行事の中で心に残っているものは何か尋ねてみました。質問1のグラフをご覧ください。アンケートの回答では、現役生も理事も部活動やクラブ活動を挙げる割合が高かったです。今も昔も部活動やクラブ活動が高校生活に欠かせないものであることがわかります。現役生の回答に「二葉祭」が少ないのは、新型コロナで例年のような文化祭ができなかったからでしょうか。また合唱祭や討論会、ひな祭りのような二葉独自の行事を挙げた理事がいる反面、現役生の回答にはありませんでした。ここにも新型コロナによる学校生活の制限が影響しているのかもしれませんが、主体的に人生を切り拓く学びにつながる諸活動や行事が安心して行える学校環境であってほしいと願います。

次に心に残っている部活動やクラブ活動への入部理由を尋ねてみました。

質問2のグラフでは現役生、理事ともにほぼ似た傾向にありましたが、現役生の「中学校での活動を続けたかったから」という理由の割合が高いことが理事とは異なっています。中学校での充実した体験を踏まえて高校生活の中で更に続けたいと思っている、或いは満足できるまでもう少し続けたいと思っているのかもしれま

せん。

一方「中学とは違うものをやってみたかった」という理由は現役生、理事ともに高い傾向にありました。高校での部活動やクラブ活動は、これまでの体験を広げたり深めたりすることができる場であるとともに、新しいことに挑戦したいという思いを支える場でもなければならぬことがわかります。

しかし長野県教育委員会の資料によると、諏訪地域の中学校卒業生数は2017年を100とすると2030年には76%まで減少することが予想されています。さらに諏訪地域は中学卒業後、他郡市や他県に進学する生徒の割合が増加する傾向が続いているそうです。であるとすれば、諏訪二葉高校は現在1学年6学級編成ですが、仮に諏訪地域の中学校卒業生数が現在の4分の3になったときには、諏訪二葉高校だけが現在の規模を維持するということができないでしょう。そしてそうなれば、部活動やクラブ活動という面から考えても、「学校単独での生徒たちの個々の興味や関心に寄り添った、より広い世界の体験」は非常に難しくなりそうです。

やはり高校には生徒が適正な学校規模で学ぶことができる環境が必要ではないでしょうか。

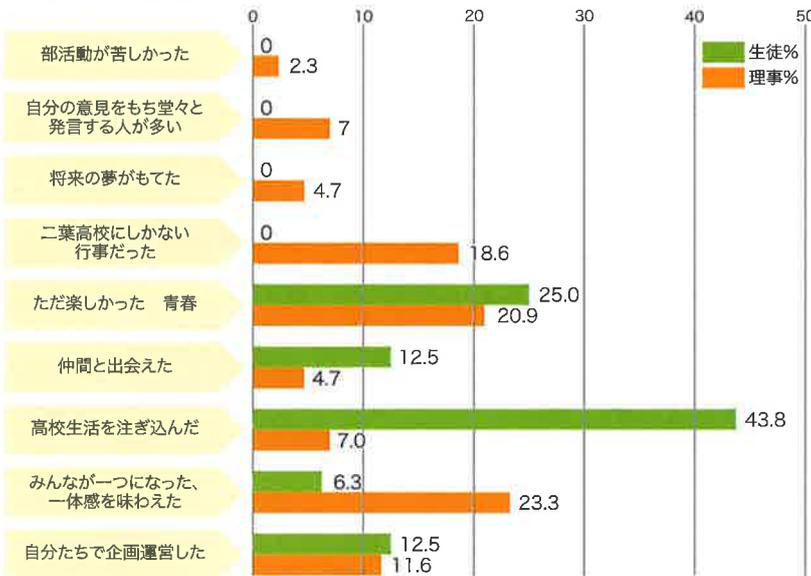
では、これらの諸活動や行事はなぜ心に残っているのかを見ます。下にある質問3のグラフをご覧ください。

現役生が「高校生活を注ぎ込んだものだったから」と答えている割合は、理事の6倍以上もありました。この回答からは、新型コロナで活動や行事が限られてしまった中でも、精一杯取り組んだ現役生の姿が浮かんで見えます。一方理事の20%が「二葉高校にしかない行事」だったことをその理由に挙げていますが、現役生は0%でした。理事の回答を踏まえると、高校にはその学校ならではの特色

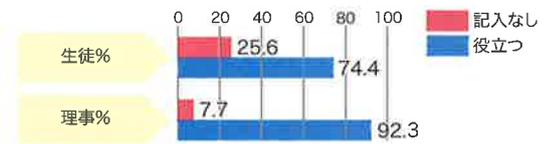
ある活動や行事が必要なのかもしれません。2021年10月下旬、クラス対抗スポーツ祭が感染対策に万全の注意を払いながら行われていました。学校中が活気に満ちていました。高校生活はわずか3年間です。そのうちの2年間、諸活動や行事が十分にできなかったことは、生徒たちにとってとても残念なこと、悔しかったことと思います。

高校生活には友とかかわりながら自分らしさを発揮できる豊かな教育活動の場がなくてはならないと考えます。

質問3
学校生活で心に残る活動や行事となった理由は何ですか。



質問4
生徒会・部活動等の経験は生活や人生に役立つでしょうか。



次に質問4と5の生徒会や行事、部・クラブ活動と生活や人生との関係についてご覧ください。

これからの生活や人生に生きて考えると考える現役生の割合は、理事に比べて20%ほど低い結果でした。経験の価値は後になって実感されることなのかもしれません。

ここでの注目点は、現役生の40%近くが「礼儀や忍耐力・根性を学ぶ場」と回答し、「協調性・柔軟な対応力」「危機管理や調整力」も挙げている点です。

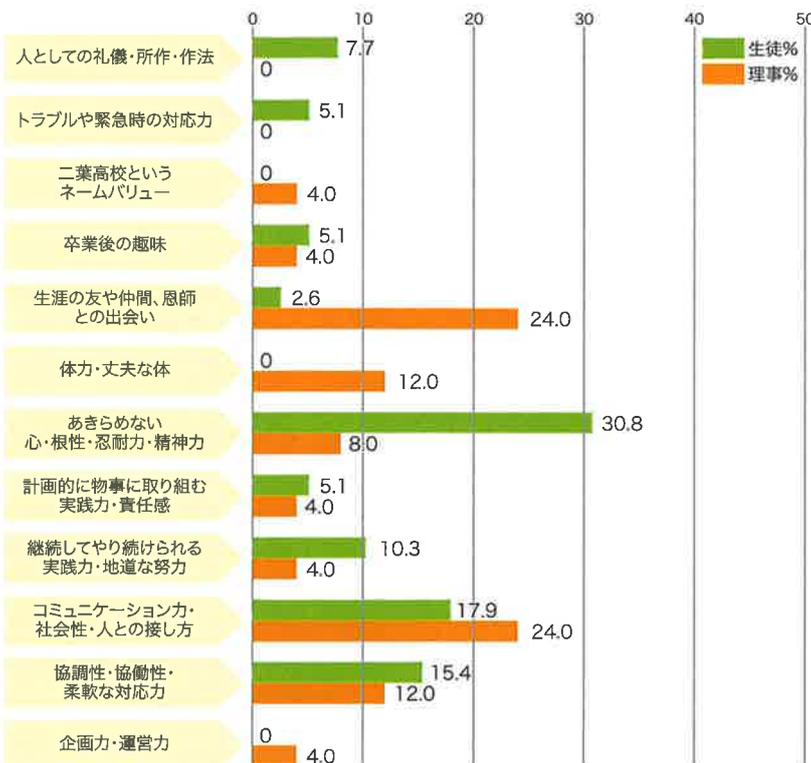
現役生のこれらの回答には、他者への気遣いに必要以上に敏感にならざるを得ない現代の状況が反映されているのかもしれません。

理事もそれらの価値を認めています。けれどもそれ以上に理事は「生涯の友や恩師との出会い」を挙げています。また理事の回答には現役生にはない「企画力・運営力が身についたこと」が挙がっています。「企画力・運営力」は仕事に就いたり社会の中で生活するようになってから気づける価値なのかもしれません。

かつて諏訪二葉高校には生徒が中心となって企画・運営した討論会がありました。そこには他者の意見を受け止めつつも自己の考えを論理的に伝えようとする熱い二葉生の姿がありました。

他者と協調しつつも自己発信を忘れないことを学べる高校であり続けてほしい、そしてそうすることが当たり前であると考え、そうあることが自然と身についていく授業や生徒会活動、部活動等がある学びの場、学習環境であってほしいと考えます。

質問5
どんなことが役立つ、役立ったと考えますか。



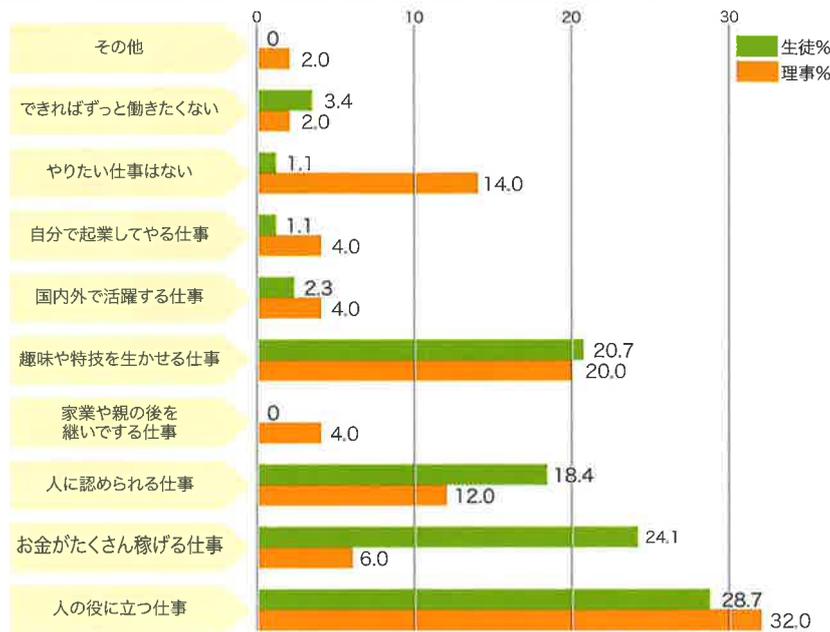
さて諏訪二葉高校は大学に進学する生徒が多く、高校卒業後すぐ社会に出て働く生徒の少ない高校です。(会報P11参照)そこで**将来の職業について**尋ねてみました。質問6をご覧ください。

現役生、理事ともにほぼ似た傾向にあります。現役生で回答の割合が高いのは「お金がたくさん稼げる仕事」です。日本の社会は雇用体系が一段と多様化しています。新たな産業革命とも表現できそうなAIの急速な普及は人間の仕事に求められるものを変えつつあります。就職問題や経済格差、年金問題なども日常的な話題です。だから現役生の収入に対する不安が大きいかもしれません。しかし現役生はそれ以上に「人の役に立つ仕事をしたい」とも回答しています。

次に14%の理事が「やりたい仕事になかった」と回答していることに注目したいと思います。現役生の「やりたい仕事はない」との回答はわずか1%です。なぜこのように大きな差があるのでしょうか。

理事の高校時代は進学先を調べることはしても、職業については親など身近な人の仕事から漠然と考えるだけで、直接調べるようなことはほとんどありませんでした。が、現役生たちは小中時代だけでなく、ここ諏訪二葉高校において「地域と連携したキャリア教育」を学んでいます。だから理事と現役生には職業に対する情報や体験のちがいがありそうです。現在諏訪二葉高校でのキャリア教育は確実に生徒の職業観を育て、そして働く意義や目的を考えることにつながって

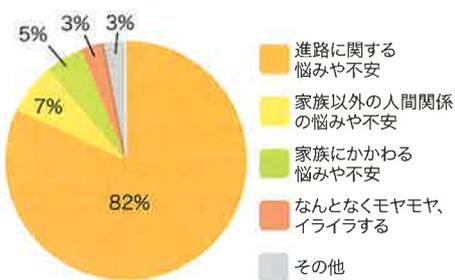
質問6 将来、どんな仕事をしたい、したかったですか。複数回答可。



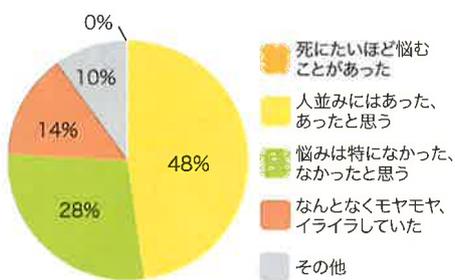
いることを示しているのではないかと考えます。人々の労働観やお金の価値観や人と人との関係等は今後どのように変容していくのでしょうか。

進学支援とともに、生徒自身が自分の特性を生かしながらか働くことに希望を抱けるキャリア教育、社会への貢献や他者との共存等について考えられる地域とも連携したキャリア教育の推進が一層必要になりそうです。

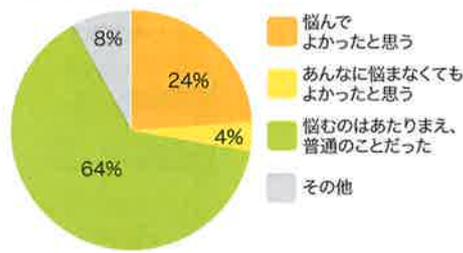
質問7-生徒 今、悩みや不安がありますか。



質問7-理事 高校生だった頃、悩みはありましたか。



質問8-理事 高校生だった頃の悩みについて、今はどう思いますか。



質問9-理事 高校時代の自分に声かけ、助言をするならどんな言葉ですか。



次に私たちは高校時代の悩みについて、生徒には質問7で、理事には質問7と8でアンケートをとりました。

現役生の回答者が7月の3年生ということもあり、82%が進路に関する悩みや不安でした。

一方理事は当時の悩みを質問7で48%が「人並みに悩みはあった」と回答し、質問8で64%が「悩むのはあたりまえで普通のことだった」と回答しています。そして24%の理事が「悩んだことはよかった」と振り返っています。

私たちはさらに理事に現役生への応援メッセージともなる質問をしました。それはもし高校時代の自分に声掛けができるとしたなら、どんな言葉をかけたり助言をしたりするかです。前頁の質問9のグラフをご覧ください。

理事の回答で一番多かったものは「もっと勉強をなさい」でした。現役時代はなかなかそう考えることはできなかったし、今の現役生もできないかもしれません。勉強の中身は教科学習のみではなく、生きていく上に必要な様々なことです。そして学びは生涯続けるものであり、その芽は高校時代にあると言えるのではないのでしょうか。理事は「悩むのはあたりまえで普通のことなのだから、夢を育て自分に自信をもって歩みを進めてほしい。そしてその時その場で輝いて生きていってほしい」と発信しています。

高校時代には、己への厳しさをもって切磋琢磨して学ぶ環境、誰に対しても遠慮することなく意見や考えを発信することで考え合い

語り合って成長する環境が必要だと考えます。

またここには記載してありませんが、「諏訪二葉高校に入学してよかったですか」との現役生への質問に対して、92%の生徒が「入学してよかった、まあまあよかった」と回答していました。同窓会としてとてもうれしく、また安心しました。日頃の先生方のご尽力に心から感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

最後に私たちは現役生にこれからの諏訪二葉高校の姿について質問しました。質問10をご覧ください。生徒の回答で目を引くのは「生徒の自主・主体性を重んじてくれる学校」「多様な個性をもつ誰もが平等な学校」「穏やかで楽しい過ごしやすい学校」「楽しい授業、進路実現を支えてくれる学校」「授業の進度や模試等も自由選択できる学校」という回答です。語弊を恐れず言えば、高校はすでに「選ばれる」存在になっています。

質問10ー生徒
諏訪二葉高校はこれからどうあってほしいですか。



生徒は学校に対して『自主性・主体性』『多様な個性の尊重』『将来への夢が描ける、進路実現ができる支援』を求めているのではないかと思います。

生徒に選ばれる学校には、
自己に厳しさをもって学べる環境
みんなが遠慮することなく

意見や考えを発信できる環境

多様な個性が認められ

誰もが過ごしやすい環境

が重要不可欠であるのではないのでしょうか。

おわりに

現役生と理事のアンケートから諏訪二葉高校の姿を振り返り、今そして未来を考えてきましたが、皆様はアンケート回答からどのようなことをお考えになったのでしょうか。

諏訪二葉高校は明治34(1901)年高島学校附設の補習女学校から始まり、その歴史は優に100年を超えています。現教育目標「自主・努力・感謝」は昭和36(1961)年から変わっていません。私たちはアンケート集計の過程で、これからも期待される二葉生の学びの姿が、教育目標の「自主・努力・感謝」そのものであることに気

づきました。そしてこの教育目標が少しも古びない、未来にもつながる目標であることに感動を覚えました。

これからの高校再編計画の中で、母校である諏訪二葉高校がどのように変容していこうとも、「自主・努力・感謝」に照らして、《日々、生徒が自ら課題を見だし、他者とかかわり合いながら主体的・創造的に学び、その学びを社会に還元して未来を創る力を身につける学校》であり続けてほしい…そう強く願います。

長野県諏訪二葉高等学校同窓会役員名簿(令和4・5年度)

役員・支部	卒業回数	氏名	役員・支部	卒業回数	氏名
会長	高校30回	西尾ひと美	八ツ葉第4	高校33回	平出直美
副会長	高校29回	大石順子	八ツ葉第5	高校33回	小平小春
副会長	高校29回	武居玉江	八ツ葉第6	高校42回	宮坂瑞穂
副会長	高校30回	金子悦子	八ツ葉第7	高校31回	川口慶子
監事	高校29回	宮坂美保子	富士見	高校30回	折井保子
監事	高校30回	平林香織	下諏訪	高校40回	木野月枝
諏訪第1	高校19回	小池幸子	下諏訪	高校40回	新藤由紀子
諏訪第2	高校47回	矢島純	三ツ葉	高校41回	森下知佳
諏訪第3	高校37回	中根妙子	三ツ葉	高校41回	唐澤真知子
諏訪第4	高校35回	小林慈	三ツ葉	高校42回	山田佐江
諏訪第5	高校36回	宮坂康子	三ツ葉	高校42回	濱智野
四ツ葉	高校22回	大蔵邦子	伊北	高校25回	原佐由美
豊田	高校33回	宮坂ほたか	伊那	高校24回	永瀬睦子
中洲	高校37回	進藤久美	松本	高校40回	胡桃なおみ
湖南	高校23回	永井勝見	長野	高校28回	永田きより
八ツ葉第1	高校42回	斎藤美也子	長野	高校28回	宮澤敦子
八ツ葉第2	高校43回	泉山百合絵	東京	高校29回	内田真理子
八ツ葉第3	高校39回	岡本久代	関西	高校12回	小坂瑞穂

□諏訪二葉高校同窓会 住所／〒392-8549 諏訪市岡村2-13-28
 (事務:相澤 容子) 電話(FAX兼)／0266-52-9595 同窓会携帯／080-7840-7208
 同窓会室E-mail／suwafutaba_obga@yahoo.co.jp

開室時間
 9:00～14:00
 (原則)月・木

□諏訪二葉高校 住所／〒392-8549 諏訪市岡村2-13-28
 電話／0266-52-4628 0266-57-2420(FAX兼)

*個人情報保護のため、役員住所、電話番号は掲載しません。

*支部長に連絡する必要がある場合は、お手数ですが同窓会事務局までお願いいたします。

*事務局からのお願い

□住所等、会員情報に変更があった場合は、事務局までご連絡ください。

□郵送やFAX、e-mailは【氏名＝在学時の姓、卒回、郵便番号、住所＝新旧、電話番号】をお書き添えください。

□ご逝去された方も、同様にご連絡をお願いいたします。

□会報は終身会費をお納めいただいた会員様にお届けしております。昭和63年以前に卒業され、会報が届いていない方は終身会費を納めていない可能性があります。住所変更のご連絡のない方も住所不明により会報をお送りすることができません。会報が届いていないなどご不明なことがありましたら、事務局までお問い合わせください。

編集後記

会報37号は様々な活動制限のあった2年間の同窓会と諏訪二葉高校の様子を、高校の置かれている状況等も含めてわかりやすくお伝えできるよう企画編集しました。いかがでしたか。説明不足や言葉足らずの点はご容赦ください。

最後になりましたが、あらためて同窓会活動にご協力くださった守屋前校長先生、浅井現校長先生をはじめとする先生方と生徒の皆様様に心から感謝申し上げます。

そしてともに活動して下さった理事の皆様、2年間本当にありがとうございました。(伊藤)

